

令和6年度 インテリアプランナー試験  
「設計製図試験」の合格基準等について

■「設計製図試験」

課題名	海沿いに建つホテルの客室のインテリア
採点のポイント	<p>(1) 計画力① (機能)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各所要スペースの面積・形状</li> <li>○ゾーニング</li> <li>○動線計画</li> </ul> <p>(2) 計画力② (寸法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○動作域を考慮した寸法</li> <li>○家具・器具等の大きさ</li> </ul> <p>(3) 表現力・演出力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○計画内容を正確に他者に伝達する能力</li> <li>○形・材質感・色彩を表現してイメージを他者に伝達する能力</li> <li>○建物の性格を理解して空間をそれにふさわしいものに演出する能力</li> </ul>
採点結果の区分	<p>採点結果については、ランクⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの4段階区分とする。</p> <p>ランクⅠ：「知識及び技能」*を有するもの          ランクⅡ：「知識及び技能」がやや不足しているもの          ランクⅢ：「知識及び技能」が不足しているもの          ランクⅣ：要求図書の書込みが明らかに不十分なもの</p> <p>*「知識及び技能」とは、インテリアプランナーとして備えるべき「インテリアの設計に必要な基本的な知識及び技能」をいう。</p> <p>○なお、採点の結果、ランクⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳのそれぞれの割合は、次のとおりであった。</p> <p>ランクⅠ：27.9%、ランクⅡ：39.0%、ランクⅢ：24.2%、ランクⅣ：8.9%</p> <p>① ランクⅡ及びランクⅢに該当した例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「リビングダイニングキッチン及びベッドルーム1,2」のゾーニング、動線計画が不適切なもの</li> <li>・「家具・器具等の基本的な寸法」及び「これらを利用する人の動作に必要なスペース」の理解力が不足しているもの</li> <li>・透視図の表現力、演出力が不足しているもの</li> </ul> <p>② ランクⅣに該当した例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計条件に関する基礎的な不適合として、「ベッドルーム1の浴室」から海への眺望に配慮が欠けるもの等</li> </ul>
合格基準	採点結果における「ランクⅠ」である者を合格とする。